

Title	表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか
Author(s)	
Citation	物性研究 (1998), 70(3): 464-464
Issue Date	1998-06-20
URL	http://hdl.handle.net/2433/96359
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成10年6月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第70巻 第3号

ISSN 0525-2997

vol.70 no.3

物性研究

1998 / 6

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 69 (1997), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率約86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

【漢字ど忘れ症候群】

症状：漢字が思い出せない。パソコン・ワープロ常用者に多い。

物性とは全然関係ない話で恐縮ですが、最近「漢字ど忘れ症候群」が蔓延しているようです。これは、原稿や手紙などの文章作成・推敲作業にパソコン等を利用しつづけた結果、漢字を「書く」という作業が、与えられたリストの中から漢字を「選び出す」という作業に変化し、自前の回路を使わなくなったことが原因と思われます¹。候補にあがるものだから、妙に難しい漢字（「拘る（こだわる）」とか「玉蜀黍（とうもろこし）」とか）を使った文章を作ってしまうのですが、いざ自分の手と頭だけで文章を書こうとしたときに、漢字がでて来ない自分に愕（がく）然とし、あらためて思考が「ひらがな型」になっていることに気づくのです。

この「記憶の外部化」とそれによる弊害は十年程前にも似たような体験をしたことがあります。学生時代に電話機を購入した時、うれしくて短縮ダイヤルに登録しまくったことがあったのですが、おかげで、電話番号がわからなくなって苦労しました。（現在の形態…おっと携帯電話ではそういう心配は無用ですか。）

すでに多くの人の暗算能力が電卓によって外部化されているように、人間の脳機能の外部化はパソコンや電子手帳が小型になるにつれて、いっそう拍車がかかるでしょう。常に端末機器を持ち歩き、それがないと他人とのコミュニケーションも取れなくなるようになるかもしれません²。

しかし、小学生以来記憶し続けて来たものを、数年ペースで急速に忘却するという恐ろしさはアルジャーノンに通じるものを感じます。（これを書いている今もどんどん失われていくと思うと複雑な心境です。）パソコンの導入は大学はおろか小学校から始まっているようです。今の学生さんはどうなのでしょう。

頭の中にあるもやもやしたアイデアを具体化するやり方も気がつかないうちに変わりつつあるのかもしれません。

(T. M.)

¹ しかも、その選び出す能力も徐々に低下しているようで、「問題が溶ける」といった間違いをつい選んでしまうことがあります。「日本語変換プログラムがあかんのや」とか「使い方がおかしいんとちゃうの」という意見もありますが、機械が賢くなればなるほど、人間がある意味で阿呆になるのは事実でしょう。

² でも自動通訳機なんてのはあったら便利。

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)

佐々木 豊 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

山田 耕作 (京大・理・物理)

吉村 一良 (京大・理・化学)

武末 真二 (京大・総合人間)

村瀬 雅俊 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

初貝 安弘 (東大・工・物理工学)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

大野 義章 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)

松井 淳 (九大・理・物理)

好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第70巻第3号 (平成10年6月号) 1998年6月20日発行

発行人 村瀬 雅俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和堂印刷所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)

佐々木 豊 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

山田 耕作 (京大・理・物理)

吉村 一良 (京大・理・化学)

武末 真二 (京大・総合人間)

村瀬 雅俊 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

初貝 安弘 (東大・工・物理工学)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

大野 義章 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)

松井 淳 (九大・理・物理)

好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第70巻第3号 (平成10年6月号) 1998年6月20日発行

発行人 村瀬 雅俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和堂印刷所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費 1st Volume (4月号～9月号) 4,800円

2nd Volume (10月号～3月号) 4,800円

計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意ください。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、年会費 19,200円 (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類 (請求、見積、納品書) が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意ください。

雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物性研究 70-3 (6月号) 目次

○Disk dynamo モデルを用いた、揺らぎの成長に基づく地磁気
反転パターンの解釈.....近藤 慎一郎..... 369

○研究会報告
「ニューラルネットワーク ~これからの統計力学的アプローチ~」..... 384

○編集後記..... 464

物性研究 70-3 (6月号) 目次

○Disk dynamo モデルを用いた、揺らぎの成長に基づく地磁気
反転パターンの解釈.....近藤 慎一郎..... 369

○研究会報告
「ニューラルネットワーク ~これからの統計力学的アプローチ~」..... 384

○編集後記..... 464